

制度の紹介

■ 目的

市内で活動している「かわさきSDGsパートナー」及び「かわさきSDGsゴールドパートナー」のSDGsのゴール達成に資する優れた取組を表彰することにより、市内におけるSDGs推進に向けた機運を高め、具体的な取組の普及及び推進を図ることを目的に実施します。

■ 応募資格

「かわさきSDGsパートナー」又は第5回「かわさきSDGsパートナー」の申請者

■ 表彰の種類

・かわさきSDGs大賞(1件) ・かわさきSDGs優秀賞(1件) ・特別賞(該当がある場合)

■ 選考方法・日程

- ・応募期間 : 令和4年8月1日から8月31日まで
- ・1次選考(書類): 令和4年9月15日 ※結果通知の日程
- ・2次選考(プレゼン): 令和4年10月6日 ※非公開
- ・最終選考(プレゼン): 令和4年10月24日 ※公開

■ 評価項目

右表の各項目について5段階の基準で評価を行い、総合的に選考します。

項目	概要
持続可能性	長期的に続けられる取組であり、将来的に取組が一層広がる可能性があるか。
調和性	①経済、②社会、③環境、④地域の4側面のバランスに配慮された取組であるか。 経済: ゴール8、9、10、12の取組 社会: ゴール1、2、3、4、5、7、11、16の取組 環境: ゴール6、13、14、15の取組 地域: 川崎市内における雇用・取引の促進、地域コミュニティへの配慮、地域課題への解決など
普遍性	取組が、地域社会においても幅広く手本となり得るもので、かつ、誰もが取組やすく、参考となるものであるか。
新規性・独創性	取組の考え方、アイデア、着想、手法、内容などが、今までになかった新しいもの、又は、他のものとは異なった独創的なものであるか。
包摂性	年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、思想、経験、スキルなど、様々な立場や考え方が異なる人々に対して配慮し、互いに差異や違いを理解・尊重することで、誰もがその個性と能力を十分に発揮することができる社会を創る視点が取組に含まれているか。
社会的影響力	取組が他者のSDGsへの理解や共感を高め、他者自らSDGs推進に向けた行動を起こすことが期待できるものであるか。
協働・連携	多様な主体との連携(ゴール17の取組)した取組、又は、将来的に多様な主体と連携する可能性が期待できる取組であり、連携により取組単体で得られる以上の効果(相乗効果)が期待できるものであるか。



有限会社グリーンフーズあつみ・おつけもの慶

「食」を通じた地域社会への貢献とフードロスの削減、環境保護への推進事業



取組概要

食品の製造業・販売業として「安心・安全」な食の提供と商品を提供するとともに、原料から出る端材を活用した二次製品の開発、また使用する容器を再生可能なバイオマス素材やリユース可能なものへシフトし、当社プラ容器の使用率は2021年度までに85%削減を達成、環境保護に努めている。また地元企業との連携により地産地消の推進、異業種協業による地産製品(容器)の活用、そして地元住民や地域学生のインターンシップにおける職場見学や工場見学、ワークショップの実施などを通じて、地域に根付く企業づくりに取組んでいる。

取組の具体的な内容

(1) 「食を通じた豊かな社会づくりと将来世代への食の供給を持続可能なものに」

原料から出る端材を無駄なく活用した製品づくりに努め、食品ロスを減らすための事業を構築していく。

【ゴール1・3・4・12・17】

(2) 差別のない職場環境と住みよい都市、持続可能な社会づくり

国籍、性別、年齢を問わず、すべての人に平等で働きやすく、各々の能力を発揮できる職場環境を提供し、地域に根付いた企業づくりに努め地域社会へ寄与。【ゴール4・10・11】

(3) 安心で安全な食づくりと循環型社会形成への取組み

食品の製造業・販売業として「安心・安全」な食の提供と商品を提供する上で使用するプラ容器などの廃止を推進し、再生可能なバイオマス製品やリユース製品などを用いて、地球温暖化やCO₂削減に努め、環境負荷の低減と地球環境への保護に努める。【ゴール4・7・12・13・14・15・17】

事業者情報(団体等の概要)

1988年創立。川崎市川崎区大島3丁目(桜本商店街)の青果物卸売・小売業者。地域密着型店舗販売として創業当時より青果物卸売販売と漬物販売を展開。現在は青果物卸売業務が3割、キムチ等漬物販売が7割を占める。卸売の他小売りでも販売しており直営店を5店舗、百貨店等の出張販売、スーパー「ライフ」、ウェブサイトでのEC販売にてキムチを販売。2004年から大島上町でキムチ製造工場も操業しキムチ漬物専門店「おつけもの慶」(屋号)を運営。川崎市の「かわさき名産品」や神奈川県「かながわの名産100選」等にキムチとして唯一、認定。(2018、2019、2020、2021、2022年度)。また川崎市、神奈川県ふるさと納税返礼品にも登録出品。



<https://gf-a.jp/>



株式会社 DeNA 川崎ブレイブサンダース

川崎ブレイブサンダース SDGs プロジェクト「&ONE」

取組概要

地域から愛されるプロスポーツクラブになるため、チームの強さやファンの数だけでなく、地域課題に主体的に取り組む必要があると感じ、2020年より川崎市と協定を締結し SDGs プロジェクト「&ONE (アンドワン)」を開始。所属選手によるファンを巻き込む発信力が一番の強みである。試合日における来場者数 × 1円をこども食堂へ寄付する取組や障がい者への働きかしの創出、イベント試合「&ONE days」における多様なパートナーとの SDGs17 目標全てにチャレンジする取組、試合の場以外での小学生向けの SDGs ポスターコンテストや、地元企業を中心とした SDGs フォーラムの開催、太陽光発電所の命名権取得など多岐にわたる取組を展開。

取組の具体的な内容

(1) ホーム試合の取組

- ・試合会場を「地元川崎で活躍する人の表現の場」として活用、拍手喝采や感謝の言葉をもらうことで「働き甲斐」を感じてもらい「スポーツクラブならではの取組」を実施【ゴール3・8・11】
- ・知的障がい者の方々から募集したデザインをグッズショップ袋に採用、地元車いすバスケットチームをゲストに招き、「車いすバスケット体験」を実施し50人超が参加【ゴール4・8・10・17】
- ・リサイクル素材を使用したユニフォームやシューティングシャツの導入【ゴール12・13・17】
- ・2021年より全ホームゲームにおいて、「カーボン・オフセット」の仕組みを導入し再生エネルギー100%での試合運営を実現【ゴール7・11・12・13・17】
- ・来場者数 × 1円を川崎市内のこども食堂へ寄付【ゴール1・2】
- ・フードドライブで集めた食品をフードバンクかわさきへ寄付【ゴール1・2】

(2) SDGs17 目標すべてにチャレンジする2日間のイベント試合「&ONE days」

- ・来場者に SDGs のアクションを促す「体験型イベント」として、2021年3月、2022年2月に開催。
- ・SDGs に関する多くのパートナーと協業し実現【全ゴール】

(3) ホーム試合以外の取組

- ・「神奈川県内の再生可能電力の地産地消」を実現すべく、相模原市にある太陽光発電所の命名権を取得し「川崎ブレイブサンダース太陽光発電所」と命名。ここで発電された電力を使い、選手寮の電力供給。2021年12月よりこの電力を「川崎ブレイブサンダース電気」として一般販売を開始【ゴール7・13・17】
- ・市内への SDGs の普及のため、市内小学生を対象に2021年より「SDGs ポスターコンテスト」、2022年8月には「夏休み SDGs 教室」を実施。また、地元企業と一緒に SDGs の学びを深めることを目的に、川崎市と共催で2021年1月より半年に1度の頻度で企業団体向けの SDGs フォーラムを実施。学識経験者や川崎市長による基調講演をはじめ、SDGs を率先する地元企業も複数社登壇【ゴール4・11・17】



事業者情報 (団体等の概要)

神奈川県川崎市をホームタウンとした B.LEAGUE B1 (1部) に所属するプロバスケットボールクラブ「川崎ブレイブサンダース」を運営している。東芝のバスケットボールクラブとして1950年にクラブを創設し、2018年に株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA) がバスケットボール事業を承継し現在に至る。武蔵小杉にある「川崎市とどろきアリーナ」をホームアリーナとして年間約30試合のホームゲームを開催。「MAKE THE FUTURE OF BASKETBALL ~川崎からバスケットの未来を~」をクラブのミッションとして活動を続ける。

<https://kawasaki-bravethunders.com/>



ten 株式会社

地域共創により、廃棄される「おから・摘果果物」を活用した地球環境にやさしい循環型商品の開発



事業者情報 (団体等の概要)

ten 株式会社は川崎市高津区にて2019年に創業いたしました。「Made in Local (地元産)」をコンセプトとし、地元の生産者や農家との共創による新たな価値づくりに取り組む「Len-Local Speciality Factory-」を運営しております。Lenでは地元産の食材を使用しパンやお菓子を製造しており、また地元生産者や事業者と共同での商品開発などを行っており、現在、直営店舗として溝の口店 (カフェ併設)、二子新地店、丸井ファミリー溝の口の3店舗を展開しています。また、「みんなが創るシェアマーケット」をコンセプトとした「ノクチラボ」は、こだわりのある「食やモノ」の個店が集まるユニークな共創型マーケットを運営しております。

取組概要

1. 市内豆腐屋との共創による食材ロス廃棄量の軽減の取組

廃棄されるおからを活用したサステナブルな商品開発、また知財マッチング事業として開放特許の活用した商品開発として、生産者・弊社・大企業との連携事業としてサステナブルな循環型商品「豆乳おからクッキーシュー」を開発しました。

2. 地元の果樹生産者さんとの共創による取組

廃棄される摘果果物を活用した「天然酵母づくり」を行っております。季節で変わる自然酵母はお客様にも大変喜ばれております。同時に「摘果果物」と言えど丹精込めて作る果物の有効活用として生産者にも喜ばれる取組となっております。

取組の具体的な内容

今回開発した「豆乳おからクッキーシュー」は、シュー皮に「おから」と「卵殻粉 (カルホープ)」を使用し、本来廃棄される素材を活用することで新たな価値を宿した「サステナブルな循環型商品」となりました。水分量の多い生のおからを使用していたこともあり開発当初はシュー皮のサクサク感が維持出来ないという課題を持っていました。しかし、川崎市職員及び川崎市産業振興財団職員におからの利活用の取組を話した際に「知財財産マッチング事業」の説明を受け、その中でキュービー様の開放特許である「廃棄物 (卵殻粉) の有効活用 (商品名: カルホープ)」の紹介を受けました。本特許はカルホープという鶏卵100%の製品をシュー皮に特定量を含有させることがシュー皮のサクサク感を増加または持続させるという特許であり、本特許を使用し商品を試作したところ課題が解決できました。

また、「摘果果物による天然酵母づくり」も行っており、地元の果樹生産者との取組で、摘果による早めにとってしまう果物は本来の果物としては売り物にはならないため通常は廃棄されてしまいますが、Lenで摘果果物を活かしていただきそこから天然酵母をつくります。生産者へはその酵母で作ったパンをお裾分けし、また摘果される果物があれば譲っていただくという仕組みを作っております。お客様は地元の素材で且つ季節の酵母を楽しんでいただけます。廃棄物も減らせるので生産者としても地球環境としても良い取組となっております。13番の「気候変動に具体的な対策を」という取組に微力ながらも貢献できていると自負しております。

弊社はこれを、①買い手である消費者、②売り手である私たち、③原料の供給元である生産者、④地球環境、四方良しを経営理念としております。【ゴール12】



https://www.instagram.com/ten_factory/



<https://www.facebook.com/pages/category/Product-service/Len-Local-Speciality-Factory-107107937926884/>

特別賞



NPO 法人 studioFLAT

Kawasaki Saori Art プロジェクト



取組概要

さをり織りは、年齢や障がいに関わらず個性や感性を織り込むはた織りです。川崎市の複数の福祉事業所等でも制作が行われています。

当プロジェクトは、有志の法人・個人の協働により、障がいの有無に関わらず才能ある方々が正当な評価と対価を得られる事例を積み重ねていきたいと考えます。布廃材を織り込む、特徴あるアップサイクルの作品を生み出します。2022年3月には川崎駅北口通路での展示をクラウドファンディングにより実施、その他イベントやアートスポットでの展示も随時行っています。

今後は織り手や作家との作品検討を進め、通販・協力店舗による販売、購買型クラファンによる販売をいたします。

取組の具体的な内容

(1) 障がいの有無にとらわれないアートとしての発信【ゴール3】

・川崎駅北口通路展示 (2022年3月26日～4月24日) 全長190mにもなる反物を空間展示。AR技術での情報アクセスへ最先端技術の導入。アートとテクノロジーの融合も行う。公共空間の天井に、廃材を横糸として織り込んだ反物を連続させる展示を行い、さをり織りの魅力を協調することで認知を広めた。

・かわバラ (2022年3月21日 @ラゾーナ川崎ルーファ広場) においてファッションショーを実施。イベントステージ出演者がモデルを勤め、多様性を象徴するファッションショーとなった。

(2) スポーツチームや企業から出る布廃材を横糸として利用【ゴール12】

布廃材ご協賛企業・団体

・川崎フロンターレ ・マルイファミリー溝の口 ・みぞのくちノクティブラザ
・カワスイ 川崎水族館 ・(株)オカダヤ ・(株)キャラット など

(3) 市民・多彩なメンバーの参加【ゴール17】

・プロジェクトメンバーとして、福祉関係者に加えて地元の制作会社、空間デザイン会社、広報や商品企画に携わる個人など多様な団体・個人が参画。

・さまざまな立場の市民が布廃材を横糸として使えるように裁断。

・かわファン (かわさきのクラウドファンディング) による市民の「あとおし」を受けて、川崎駅北口通路展示を実現。

(4) プロジェクトの経済的な自立を目指す取組【ゴール8】

・川崎駅北口通路展示について、かわファン (かわさきのクラウドファンディング) で資金調達。市民に対する企画の周知、リターンのための商品企画・制作も行った。

・各分野で活躍中の作家に依頼し、さをり織りの価値をさらに高める作品を制作。

事業者情報 (団体等の概要)

studioFLAT は、障がいの有無に関わらず、アート活動を通じ皆の魅力を最大限に引き出して、社会貢献に励む。そして、特別な呼称がない FLAT な社会を目指しています。

2019年にNPO法人格を取得。2020年1月よりstudioFLATを開設。川崎市初のギャラリースペースを持った生活介護事業所として、利用者の作品など様々なアートを発信、地域社会と連携した活動を行っています。

2021年にかわさきSDGsゴールドパートナー認証。「すべての人に健康と福祉を」「人や国の不平等をなくそう」等を持続可能な目標として、作品販売によるアーティストの経済的自立支援や、端材の有効利用など多様な取組を推進しています。



<https://studioflat.or.jp/>

特別賞



NECプロボノ倶楽部・川崎市立川崎総合科学高等学校

川崎総合科学高校との共創開発でのオンラインポッチャの普及、川崎から世界へ共生社会実現の挑戦



取組概要

誰一人取り残さない”というSDGsの理念ではダイバーシティ (多様性) とインクルージョン (包摂) は不可欠。障害者や拡大する高齢者、コロナ禍で困窮している子供達など、社会から分断された孤立が加速しており、誰もがお互いを理解、支え助けあい、夢と希望を持って未来を描く共生社会が求められている。子供から高齢者、障害者など誰もが簡単に楽しむことが出来るポッチャ競技に最新のテクノロジーを投入し投げる事が出来るランブを開発。外出が困難な方が世界の多様な人々と空間を超えてポッチャ競技を楽しむことで、共生社会の実現への加速が出来る！と共感・共鳴した高校生と社会人が発起しオンラインポッチャ開発・普及活動を展開中。

取組の具体的な内容

メイン目標

【ゴール10】 人や国の不平等をなくそう => 障害の有無や高齢などの年齢、性別、人種、経済的背景に関わらず、誰でもオンラインポッチャ競技で楽しむことでの相互理解と配慮を実践、最新技術の活用で川崎から世界に繋がるSDGsの共生社会のムーブメントを巻き起こす。

【ゴール3】 すべての人に健康と福祉を => コロナ禍の外出制限中の子どもや高齢者、在宅での看護が必要な障害者など最新技術とオンライン活用で、空間を超えて世界中の人が笑顔で競技を同時に楽しむことが出来る環境を提供すること。

【ゴール5】 ジェンダー平等を実現しよう => 障害者、高齢者、育児や介護などの当事者だけでなく、あらゆる社会的弱者を支援し支える方々や団体、まちづくりを行うボランティアなど、すべての人々が主役になれる世界を目指すこと。

【ゴール9】 産業と技術革新の基盤をつくろう => 未来を担う高校生のエンジニアとデザイナーのタマゴ、IT企業社員が力を合わせ多様な仲間と技術のアイデアのブラッシュアップ活動を行い川崎のものづくり産業の魅力や地域連携で共感共鳴の大きな流れを産み出せることを自ら実践し、社会に示してゆく。

【ゴール11】 住み続けられるまちづくりを => 子供達や障害者や高齢者など社会的弱者の方々や地域住民を繋ぎきかけの場を提供することで地域社会での住民の絆、共助のまちづくり活動の重要性を具体的に示してゆく。災害時でもお互いを思いやり助けあえるよう、ポッチャ交流を通じた挨拶や声掛けを日常のものに定着させ、住民の孤立を防ぎ、ココロもカラダも健康な地域まちづくりを行うこと。



<https://www.facebook.com/nec.probono>

事業者情報 (団体等の概要)

(設立) 2020年7月

(規模) 約500名のプロボノ活動登録スタッフ

(拠点) NEC玉川事業場および本社、全国拠点、在宅・リモートオフィス

(団体概要) NECグループ社員開発のプロボノ活動団体。川崎市社協、かわさき市民活動センターなどと連携し2年間で30以上の社会課題の解決をプロボノワーカーチームの活動を通じて展開中。

(事業概要) プロボノボランティア社員および産学官連携の地域共創活動による、社会課題解決、共創活動を通じた地域まちづくり支援活動。